

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期企業版ふるさと納税を活用した南丹市地域創生推進プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

京都府南丹市

3 地域再生計画の区域

京都府南丹市の全域

4 地域再生計画の目標

本市では、1950年（昭和25年）の総人口47,641人をピークに人口減少に入り、1995年（平成7年）に一時的に増加したが、その後、減少を続け、2020年（令和2年）の総人口は、ピーク時から16,012人減少している。

年齢3区分別の人口動態では、1985年から2020年までの推移をみると、年少人口（0～14歳）は1985年の7,098人から2020年までで3,528人に減少し、一方で高齢人口（65歳以上）は1985年の6,265人から2020年には11,198人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（14～64歳）も1985年の24,346人から2020年には17,173人となっており、減少傾向にある。

自然動態では、2012年から2022年までの推移をみると、出生数は2012年の

228 人から 2022 年には 167 人まで減少している。その一方で、死亡数は 2012 年にの 466 人から 2022 年の 541 人と増加しており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲374 人（自然減）となっている。

社会動態では、2012 年から 2022 年までの推移をみると、2012 年は転入者（1,196 人）が転出者（1,126 人）を上回る社会増（339 人）であった。2022 年は 99 人の社会増となっているが、直近 5 年間の平均では、▲4.6 人であり緩やかに社会減となっている。

人口の減少は、出生者の減少（自然減）が主な原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会増につなげる。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

【基本目標】

- ・基本目標 1 「しごと」をつくり、そこで働くひとをふやす
- ・基本目標 2 南丹市への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる

【数値目標】

５－２の①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	誘致企業就業者数	3,146人	3,600人	基本目標 1
	市民の市内就業率	50.9%	53.9%	
イ	純転入者数	6人/年	累計250人	基本目標 2
	生産年齢人口	15,871人	14,800人	
	観光入込客数	245万人/年	累計1,407万人	
ウ	出生数	132人/年	累計690人	基本目標 3
	子ども女性比	16.4%	17.7%	
エ	今後も南丹市に住み続けたいと思っている市民の割合	52.5%	55.5%	基本目標 4
	住みやすいまちだと思っている市民の割合	42.7%	45.7%	
	市民の地域活動参加率	49.8%	52.8%	

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期企業版ふるさと納税を活用した南丹市地域創生推進プロジェクト事業

ア 「しごと」をつくり、そこで働くひとをふやす事業

イ 南丹市への新しい人の流れをつくる事業

ウ 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 「しごと」をつくり、そこで働くひとをふやす事業

本市の持つ独自性や魅力を活かした「しごと」の創出、企業立地推進、
雇用創出、地域産業の担い手となる人材の育成や起業支援に資する事業

【具体的な事業】

- ・企業が立地できる環境や基盤の整備
- ・セミナーの開催や事業計画支援等の創業支援 等

イ 南丹市への新しい人の流れをつくる事業

本市の魅力発信や住みやすい環境の整備、定住・移住促進の取組の推進、

本市のファンの獲得に向けた魅力創出や歴史文化振興に資する事業

【具体的な事業】

- ・ 定住促進サポートセンターにおける定住・移住支援
 - ・ ウェブサイトや SNS を活用した情報発信、シティプロモーション
- 等

ウ 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚から子育てまで各ライフステージでの負担感の軽減、子育てをしながら働き続けられる環境の整備、こども達が地域に愛着を持てる教育や取組の推進に資する事業

【具体的な事業】

- ・ 妊婦から乳幼児までの健やかな育ちのサポート
- ・ 地域課題の解決に向けた探求学習の推進 等

エ 誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる事業

誰もが住み続けたい安心・安全な地域づくり、地域コミュニティの衰退防止、市民満足度の向上、住民ニーズや広域化する行政課題への対応に資する事業

【具体的な事業】

- ・ ICTを活用した健幸ポイント事業
- ・ 災害に強いインフラや公共施設の整備・長寿命化
- ・ 南丹市まちづくりデザインセンターによる地域活動のサポート 等

※なお、詳細は第3期南丹市地域創生戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

250,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 9 月頃「南丹市地域創生会議」で効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後、速やかに本市公式 W E B サイト上に公開する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで